

チリの新政権で、カミラ・バジェホが官房長官に指名されました。彼女については10年前、「ペンギン革命」とともに紹介したことがあります。10年前の記事を「ニュース」で載せるのも気がひけるのですが、とりあえずその時の記事を再掲しておきます。

2011年11月15日

## チリ学生運動のジャンヌ・ダーク

日本ではあまり報道されないチリ学生運動の紹介。最初はやわらかく、美人女性リーダーの話。



カミラ・バジェホは芳紀23歳、ご覧のと通りの顔立ちである。我々の年だとどうしても鼻ピアスが気になってしまうが...

彼女は5年前から共産主義青年同盟の活動家だ。チリ大学で地理学のマスター・コースをとっている。

チリ大学といえば名門国立大学で、日本でいえば東大にあたる。70年ころの話だが、これに対して京大にあたるのがコンセプション大学、チリ工科大学は東京工大、早稲田にあたるのがマガリャンエス（マゼラン）大学だった。いまは再編が進んだらしく、さっぱり分からない。

彼女はチリ全学連の委員長である。女性の委員長は全学連の105年の歴史上二人目だ。

チリの学生はピネーラ保守政権に対してこの3ヶ月間、不屈の闘争を続けてきた。彼女は闘いの先頭に立ち、そのシンボルとなっている。

カミラが火を吹くような演説をする。そして何十万もの高校生や大学生が街頭に出てデモ行進する。その隊列には教師、教授、労働組合員も加わる。

先週、カミラは「空鍋叩き」（cacerolazo）を呼びかけた。首都サンチアゴやその他の町での空鍋の騒音たるやすさまじいものだった。

カミラは死の脅迫を受けている。先週の木曜日、一人の阿呆がツイッターに自宅の住所と電話番号を掲示したからだ。

彼女の家族は政府に保護を求めた。しかし昨日（月曜日）、ピネーラ政権の内務相ロドリゴ・ウビラは「政府は彼女の安全を保証することは出来ない」と言い放った。

カミラは現在、市内を転々としながら活動を続けている。

---

[もうひとつ別の記事：](#)



カミラの言葉は、衒いなく直截である。彼女は外国のプレスに応じてこう語る。

「今日、共産主義の思想は現実的な意義を持っている。なぜなら共産主義は人民の覚醒というコンテキストにおいて展開されているからだ」

彼女が指導する学生運動は、この6ヶ月間、教育の構造改革を要求し、闘い続けてきた。

「チリでの不平等は、もはや一日たりとも続けることは出来ない。それは持続不可能だ。なぜなら人民がそれに耐えられないからだ。

...人民の意識を高める必要がある。それだけでなしに、何が不平等を引き起こすかについて分析し、闘う部隊を組織していかなければならない。

それこそは我々が、共産主義者としての歴史を通して提案してきたものである。

もし、“ほかならぬ今、あなたにとって共産主義者であることがどんな意味を持つのか？”と問われるのなら、私はこう答える。

“私は、ほかならぬ今、共産主義者であることを、大変誇りにしている”（どうだい、言ってみろよ、このせりふ！）

カミラは自らの指導する学生運動の状況に関して、以下の点を強調した。

「現下の状況に対しては、我々は極めて厳しい状況にあると認識している。動員を繰り返す間に、みんなの神経はすり減らされてきてる。しかし我々は抵抗を続け、困難を乗り越えていかなければならないだろう」

もう一つ、その2年後の記事。

2013年11月19日 [カミラ・バジェホが国会議員に](#)

Reuters in Santiago

18 November 2013

2011年のチリ学生蜂起を率いた女性が下院議員に当選した。



サンチアゴ市内で選挙演説中のカミラ Martin Bernetti/AFP

カミラは2011年にチリ学生運動の先頭に立った。他にも3人の学生運動出身者が下院に当選した。これはチリの政治の世代交代を強く印象づけた。

カミラ・バジェホ、25歳の共産主義者は国際的な名声を得ている。彼女はOECD加盟34カ国中、最悪の所得格差を誇るこの国で、無料の良質の教育をもとめる運動の顔となった。

カミラの勝利はミシェル・バチエレと「新多数派」(Nueva Mayoría)が議会に強い基盤を作るための鍵となった。

「ラ・フロリダ街（学生デモの定番地区）で勝利を祝おう」とカミラはツイッターで呼びかけた。



この日、最も明らかな勝者は大統領選挙で一位となったバチエレであった。彼女は06年から10年までの間大統領を務めている。

しかし彼女は勝利を確実なものとするためには来月の決選投票を闘わなければならない。

11年の巨大な学生の抗議行動は、現職の保守派大統領（セバスチャン・ピニエラ）の政府を動揺させた。

そして

2013年のバチエレの大統領選挙キャンペーンを助けた。バチエレは教育の全面的見直しに必要な資金を税制の改正により獲得すると公約した。

カミラとともに3人の学生運動指導者も当選した。ジョルジョ・ジャクソンとガブリエル・ボリクは独立派として、カロール・カリオラは共産党に所属した。

このパワーは、しかし来年も続くとは限らない。学生運動の新しい世代の何人かは、彼らを“sell-outs”と見ている。

かつてカミラもその席にあったチリ大学学生連合の新議長メリッサ・セプルベダは、「私は、カミラにもジョルジョ・ジャクソンにも投票しないだろう」という。

「変化の可能性は議会にはないのだから」